

社会の変化と悩みの多様化



平成31(令和元)年度がまごおり 若者サポートステーション実績			
新規登録者	117人	就職件数	73件
就職率	63.2%	相談件数	1,856件
年代別利用者割合			
10代:14% 20代:47% 30代:39%			
男女比別利用者割合			
男性:55% 女性:45%			

若者サポートステーションでは、働いていない15～49歳の人の就労準備のサポートを行っています。この事業は、厚生労働省から委託されているもので、日本全体で解決する課題となっています。

始まりは、バブル崩壊による就職氷河期に就職できなかった人が増えたことがきっかけです。その人たちの就労を支援するため、平成18年度から若者サポートステーションがモデル事業として発足しました。事業開始から10年以上経ち、経済・世界情勢など、社会は大きく変化しました。これにより、若者の悩みはさらに複雑になっています。

現在日本には、職に就いていない39歳以下は約50万人、49歳以下は約120万人いるとの統計があります。彼らは団塊ジュニア層と言われ、動向が社会に大きな影響を与えます。

支援の流れ

